

地文新篇

西邨貞編纂

附圖

278
459
三册

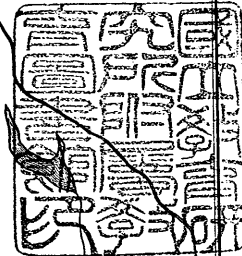
第三卷
共三册

K

隅田川及比荒川河道畧圖



文部省
通學務局
圖書印章



原圖ニハ横文アレ此ニハ之ヲ省ク

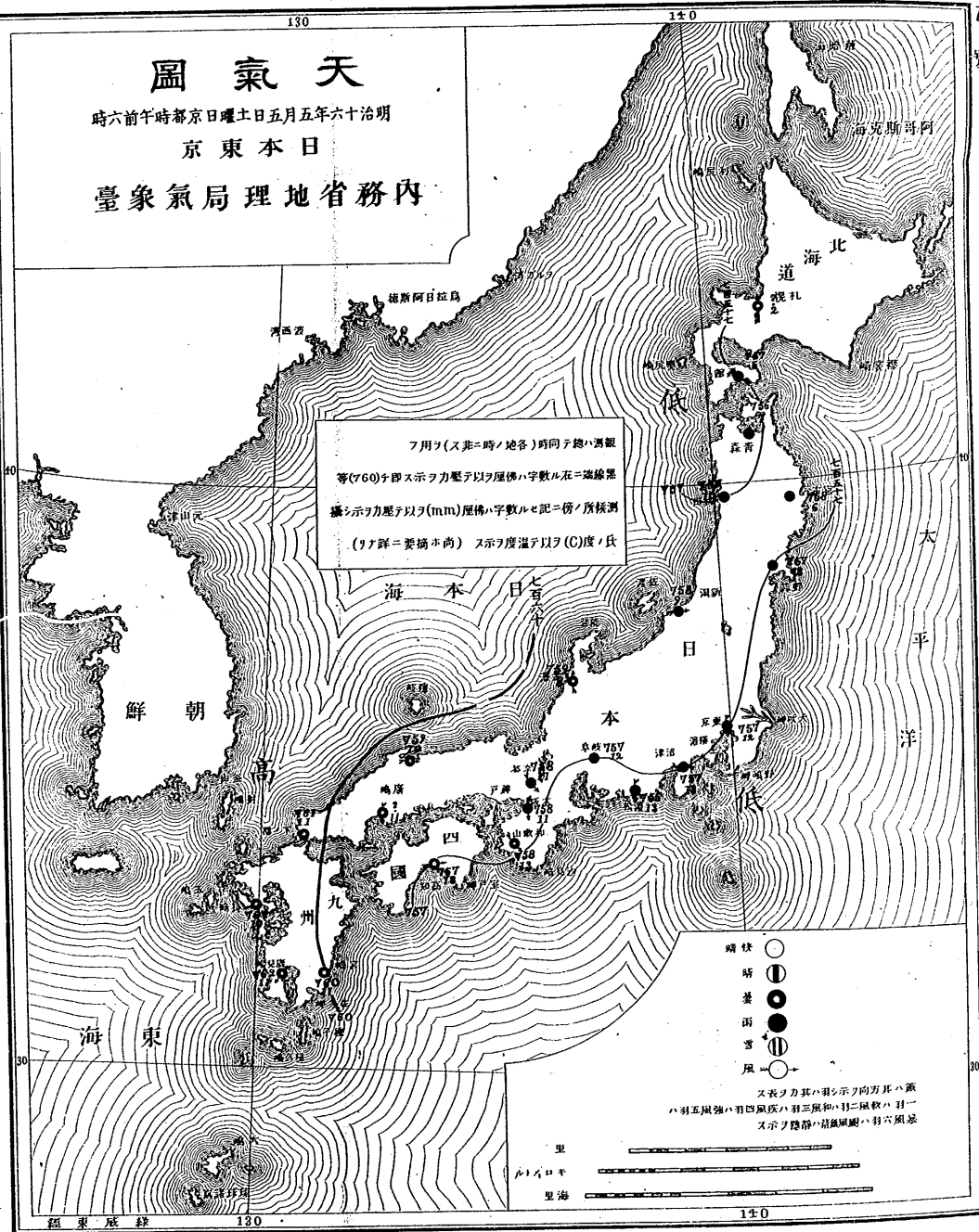
乙 號

天 氣 圖

時六前午時都京日曜土日五月五年六十治明

京 東 本 日

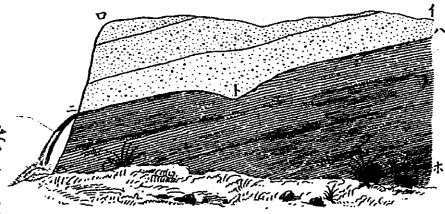
臺 象 氣 局 理 地 省 務 內



地文新篇附圖

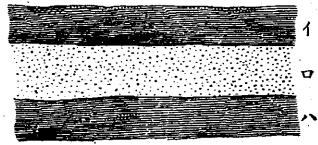
西邨 貞編纂

第一圖



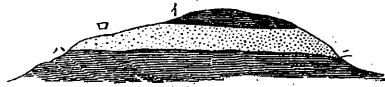
泉ノ成立

第二圖



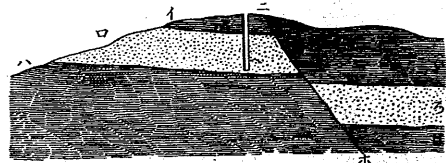
地ニ線位ル水不及水ノ層ノ地質漏ト質漏在置ノ平

第三圖



傾斜ル水質及水質漏ト質水漏ノ地層

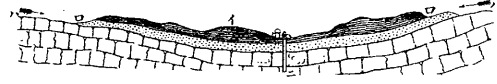
第四圖



泉及井ノ位置ニ於テ斷層ノ關係

地文新篇附圖

第五圖



杯盤狀ヲ成シタル地層

第八圖

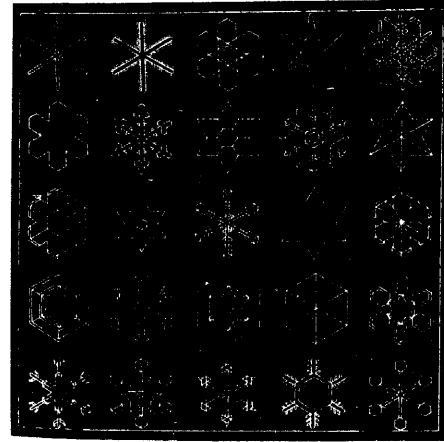
一萬六千六百七十 リキ	一萬四千四百七十 リキ	地層	八千八百七十 リキ	北極 三千三百七十 リキ	海水面
----------------	----------------	----	--------------	--------------------	-----

雪線



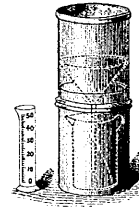
赤道下ノ亞利非亞北極海ノ間ノ雪線位置ト高ト

第九圖



雪片ノ結晶

第七圖



雨量度

スラシ



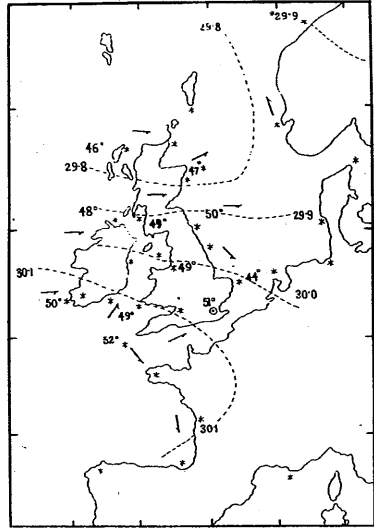
スタラトス

スラム | 毛



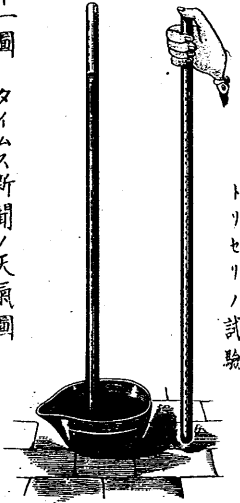
スバムニ

ハ
×



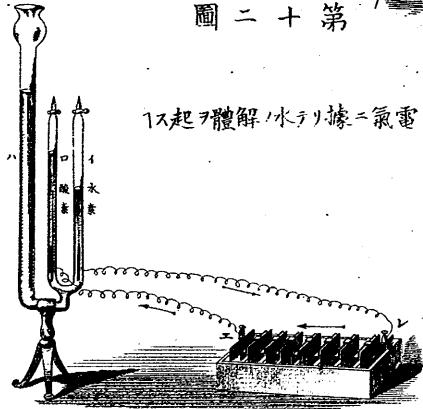
第十一圖 タイムス新聞ノ天氣圖

第十圖



トリセリノ試験

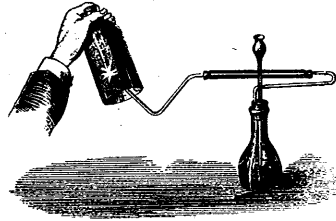
第二十圖



電氣ニ據リテ氷ヲ融起ス

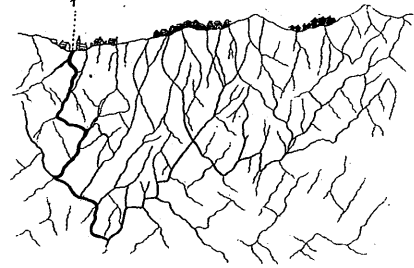
第十三圖

乾キタル水素
瓦斯ヲ燃燒シ
テ水ヲ造成ス
ルイ



第十四圖

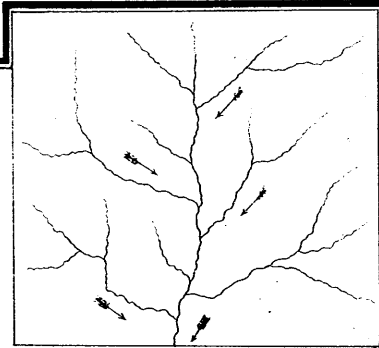
深泉ノ位置



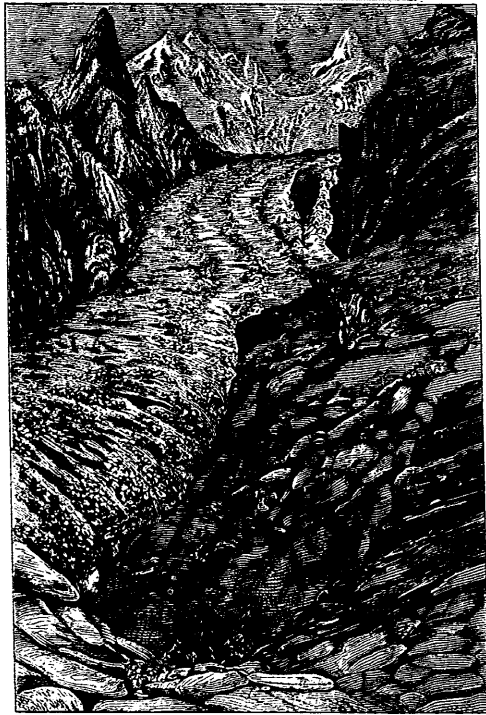
第十五圖

鍾乳及ヒ石牀





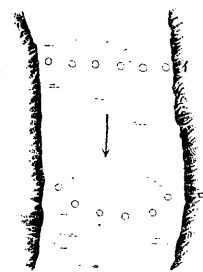
第十六圖
雨水ノ地
高低ニ隨
テ流スル
形樣



第十七圖
ゼルマツト氷河

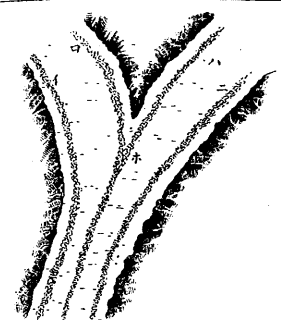
第十八圖

氷河ノ運行



第十九圖

側部及中部
モレインズ



第二十圖

縦線ノ磨傷ヲ
帯ヒタル石塊



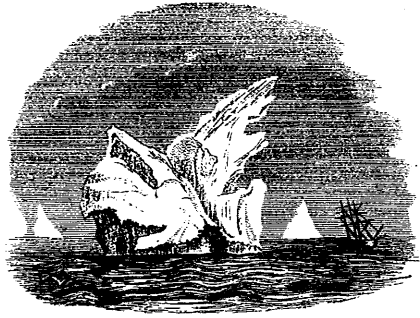
第廿一圖

羊背



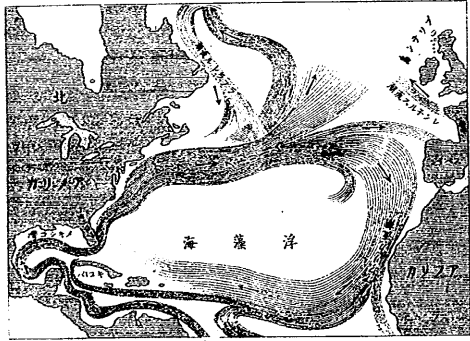
第 廿 二 圖

氷山ノ海上ニ浮ビ出テタル形様



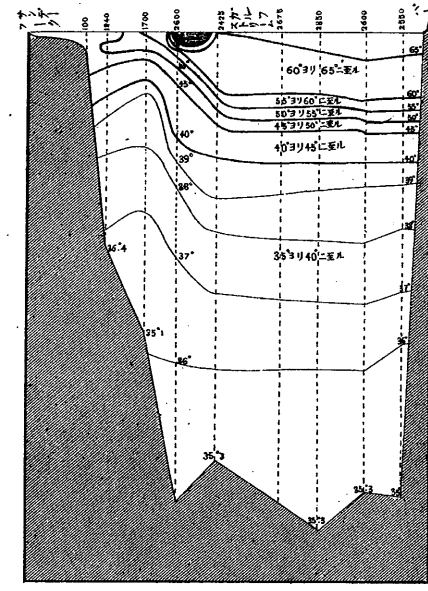
第 廿 三 圖

大西洋ガルフストリームノ進路



第廿四圖

大西洋サンデーフックトバーミユグ
トノ間七百海里ノ截圖



圖五廿第

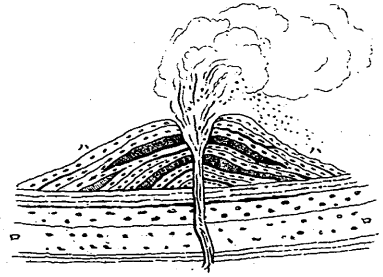
圖六廿第

熱ニ據リテ水ノ
流通ノ起ル

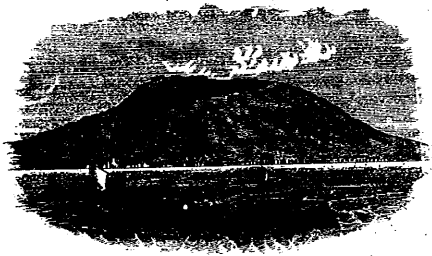


寒ニ據リテ水ノ
流通ノ起ル

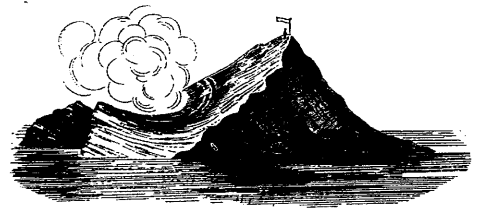




第廿七圖
火山ヲ縦斷シタル
截圖



第廿八圖
ホニアイ破壞以前
ダヌーダアス山形状



第廿九圖
一千八百三十一年ニ現
出セシグレーハム島ノ形
状

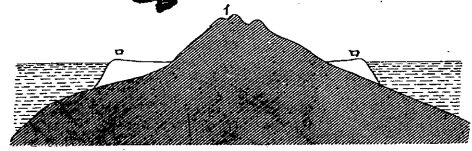
第三十三圖



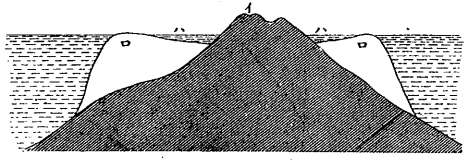
ガイセリ泉



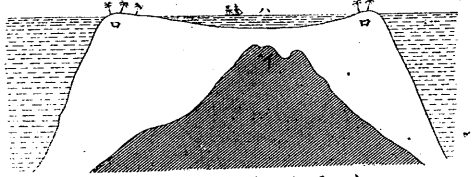
第三十一圖
珊瑚ボツク



第三十二圖
截タルレテ因嶽緩
固ルシ絶島ヲ圍リニ總



第三十三圖
截タルレテ因湖ヒ礁分
固ルシ絶島ヲ圍リニ海及界



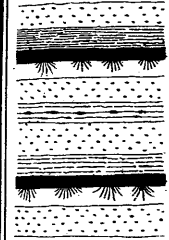
第三十四圖
截タルレテ有湖ニ中
固ルシ絶島ヲ圍リニ海央

第三十二圖

第三十三圖

第三十四圖

第三十六圖



煤層之切面圖

動物ノ遺體ヨリ
成レル石灰石ノ
碎片

第三十七圖



示ス世界ノ地界圖

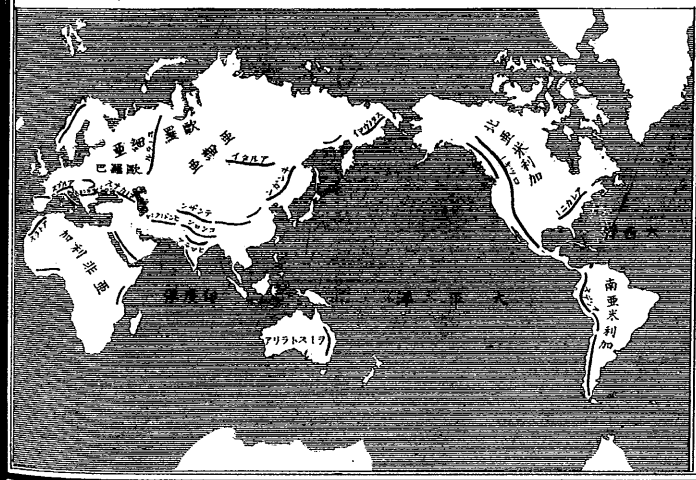


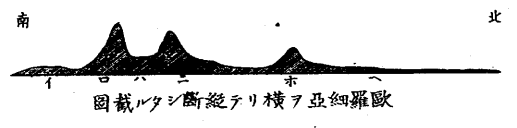
第三十五圖

羊齒ノ葉ノ跡
有ルス
片岩ノ
碎片

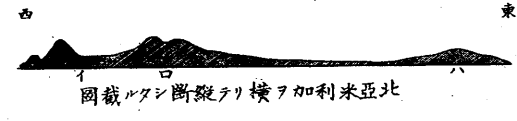
第三十八圖

重ナル山脈ヲ

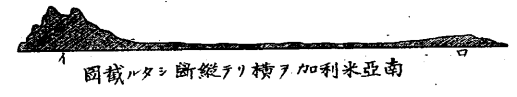




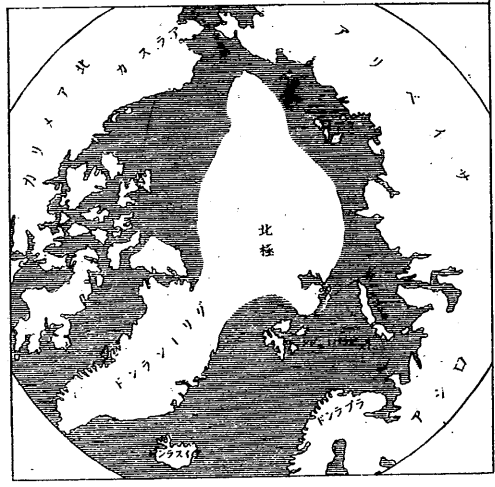
第三十九圖



第四十圖

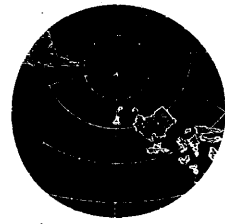


第四十一圖



第四十二圖
北極地方ノ圖

圖四十四第



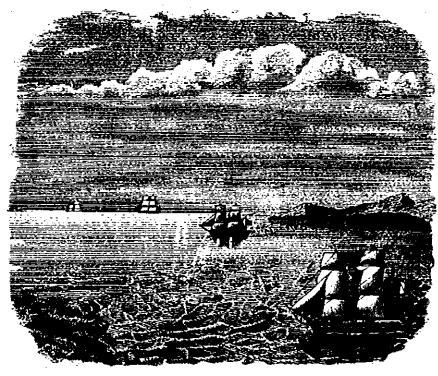
水半球

圖三十四第



陸半球

圖五十四第



海上船ノ陰没

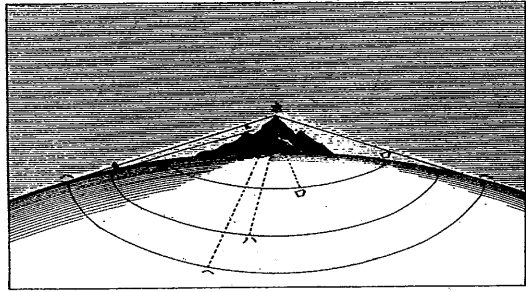
圖六十四第



處ル来*近ニ岸ノ船

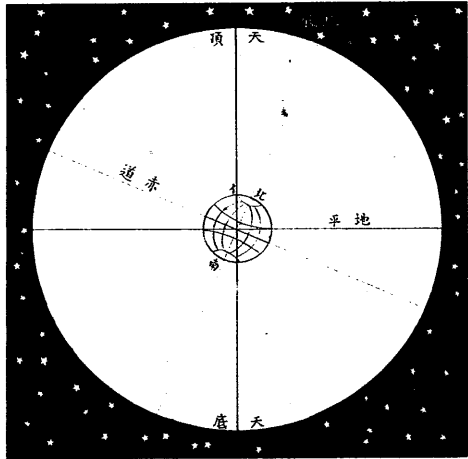
第四十七圖

高キニ登ルニ隨ヒテ
天柱愈増大スル



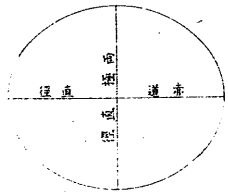
第四十八圖

地球ノ天空ニ懸レルル狀

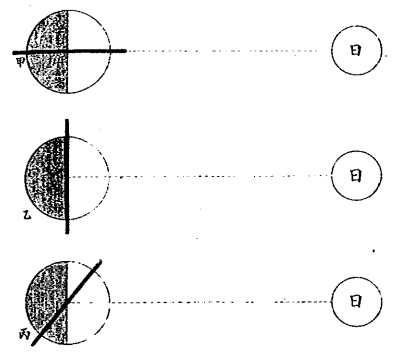


第四十九圖

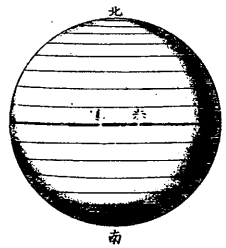
赤道及ヒ兩極
兩直徑ノ差アリ
ス但甚放太セル
者ナリ



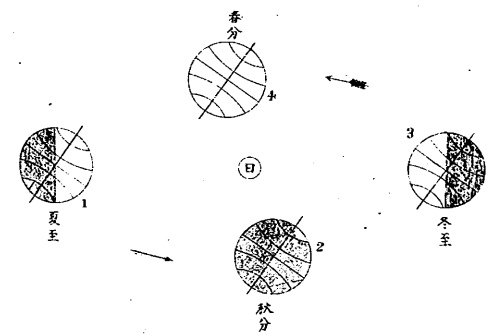
第五十圖
大陽ト地球ノ位置
トノ關係



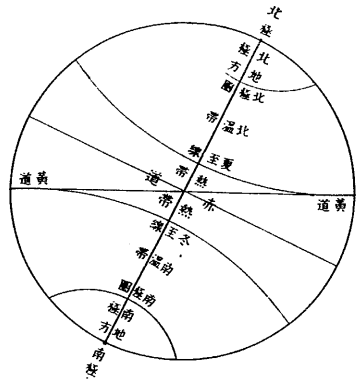
第五十一圖
赤道ヨリ北シ若クハ
南スルニ隨ヒテ圈ノ端
小スル



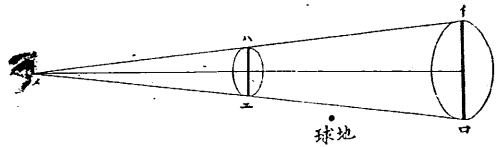
第五十二圖
四季ニ於テ大陽ト地球
トノ位置ノ關係



第五十三圖
地球面諸帶分賦

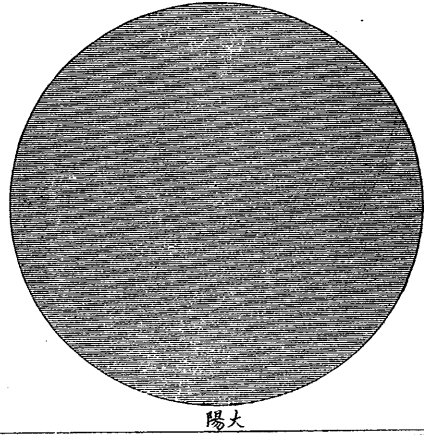


第五十四圖



外見上ノ大サ
視角ノ大サニ
關スル

第五十五圖



太陽ト地球トノ比較上ノ大サ
地球ノ太陽ヲ距ル眞ノ距離ヲ現分シテ
此ニ體ハ概ニ二十七英尺ヲ隔ツヘキモノトス

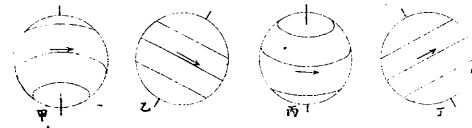
太陽の光線
太陽の光線

圖六十五第



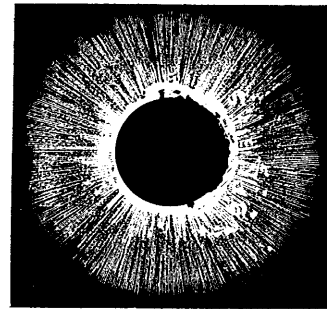
一千八百六十五年
十月十四日於イテ
觀測シタル太陽ノ
一大斑點

圖七十五第



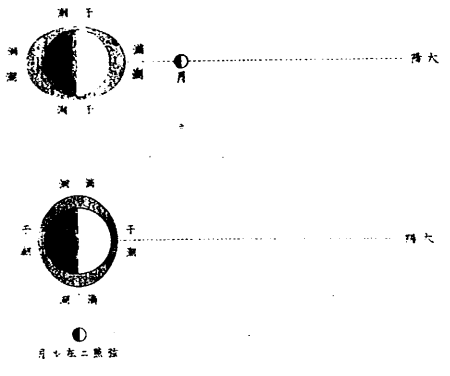
一年間太陽
ノ斑點外見
ノ經路

圖八十五第



一千八百五十一年日蝕
皆既ノ形象

第五十九圖



地文新篇附圖

終

地文新篇

附圖

五卷下

K110,25-117

明治十六年六月十四日版權免許
同十七年八月出版

定價金壹圓

編纂人

東京府平民

西邨 貞

神田區小川町十七番地

出版人

同 士 族

原 亮三郎

日本橋區本町三丁目十七番地

賣捌所

東京大坂
兵庫岐阜

金港堂

